病　院　だ よ り　　2017年5月号　第354号

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　板 橋　家頭夫
編集責任者　広 報 委 員 長　中 村　清　吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

昭和大学病院副院長就任のご挨拶

昭和大学病院　副院長　相良　博典

平成29年４月１日から昭和大学病院の副院長を拝命いたしました。二十四節気のひとつ、清明の頃であります。草木が芽吹き、万物が新鮮になり、明るく清らかな季節にあってご挨拶申し上げることを大変嬉しく思います。

チーム医療は、患者さんを中心にして、それぞれが専門性に基づく役割を発揮し、チームとして機能して初めて成り立ちます。チームの能力は、各々のメンバーが理想を求めて磨きあげる専門性の総和であるとも言えますが、チーム医療の本質とは、単なる足し算では説明できない力を示し、奇跡の瞬間をもたらすところにあると考えます。

集団での活動を通じて、人はしばしば、個人では到底至らないような優れた知恵を発揮することがあります。それは、互いに耳を傾け、考えや思いを共有し、連帯を深める中で得られる知識であり、「集合知」と呼ばれています。

一個人から見える世界は限られています。大学病院に身を置く我々は、常に最高の医療を患者さんに提供するために、その専門性を最大限に高めることを必要とされます。しかし、専門性を高め、集中することは、時に視野狭窄という弊害を生むことを頭の片隅に置いておかねばなりません。気付かないうちにモノの見方が硬くなってくるのです。

他者との関わりの中で、自分が「知らない」ということを知ります。実は、この知らないということの気づきこそが表面的な答えを出すことよりも一層重要な成長機会であり、事象に対してなぜと問う力が養われると思うのです。患者さんを中心に、集団の相互作用によって、想像力や忍耐力、他者を尊重し、心を開いて互いに信頼する力が育まれます。この時に、チームや組織は大きく前進するのではないでしょうか。

他職種のスムーズな連携には協調性が欠かせません。しかし、和を重んじるばかりに自分の意見を引っ込めてしまうということも、時に起こることかもしれません。また、情報は水と同じように、下から上には、流れにくい性質があります。しかし、最も重要な情報は、常に患者さんとの接点にあるため、組織長には、誰もがオープンに平等に安心して意見を言える雰囲気を作る義務があります。

心を込めた挨拶や気遣いは、人と人との間に「のりしろ」を作ると考えています。この余白にこそ、耳を傾けるべき大切な情報があり、人となりを知る機会があり、相互信頼を育む時間が生まれるのだと思います。

人は他者との関わりの中で生きています。誰もが互いに支え合い、互いに必要とされる存在です。昭和大学病院の地域連携においても、このような人と人との「生きた結びつき」を大切にしたいと考えています。

「清浄明潔」の語のとおり晴れわたる空に憧れを抱きながら、職務に邁進してまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

病院医療最前線!!　Vol.9
「呼吸器・アレルギー内科」

患者さんが自分の家族であるように誠意と真心のこもった医療を心がけています

当科は、呼吸器疾患並びにアレルギー疾患全般の診療を専門とし、当院は日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本がん治療認定医機構、日本臨床腫瘍学会認定の教育施設でもあります。外来・入院ともに呼吸器外科と連携し、呼吸器センターとして診療を行っています。

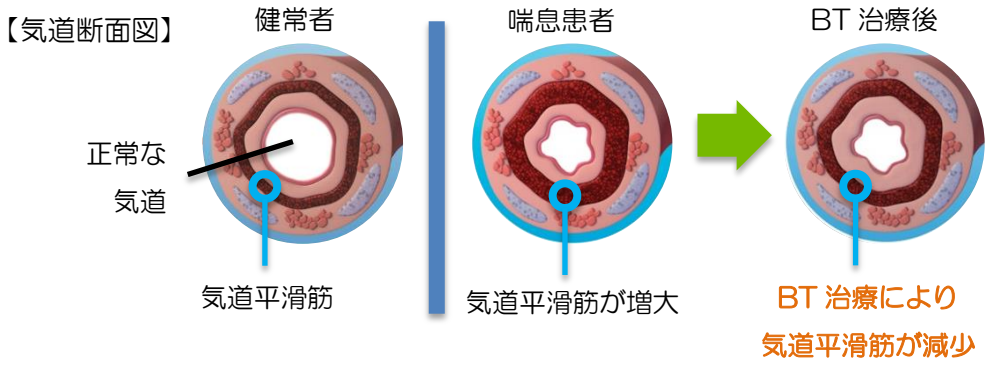
診療体制

喘息患者さんは、誘発痰、呼気一酸化窒素(FeNO)、気道過敏性の測定など専門的な検査を行い、吸入ステロイドを中心とした抗炎症治療に重点を置き、重症の方には分子標的薬を用いた最先端の治療を導入しています。また、重症喘息における気道リモデリングの症例には、新規に取り入れた気管支サーモプラスティ（以下参照）が始まります。患者さんに応じて免疫療法（急速減感作療法）の導入も行います。その他、喘息日誌、ピークフローによる自己管理を徹底しています。COPD 患者さんには、COPD 教室やレクリエーションを取り入れた積極的な非薬物療法も取り入れています。肺がん患者さんには、外来化学療法を積極的に勧め、生活の質（QOL）を重視し治療方法を選択しています。睡眠時無呼吸症候群の患者さんは、耳鼻咽喉科、神経内科、昭和大学歯科病院、地域医師会と連携し、マウスピースや在宅持続陽圧呼吸療法など包括的治療を行っています。

特徴的な治療領域

・気管支サーモプラスティ療法（気管支熱形成術）

複数の喘息の薬を使用していても、喘息の症状が出てしまう 18 歳以上の患者さんに対し、症状を緩和させるための治療法です。気管支鏡下に行う処置で、気管支鏡に細いバスケット型の電極カテーテルを挿入し、気管支壁を約 65 度に 10 秒毎、位置をずらして加熱を行います。それにより、喘息の気管支収縮の要因とされる肥厚した気道平滑筋の量を減少させて気道の反応性を抑制し、喘息症状を緩和します。



・超音波気管支鏡（EBUS）

EBUS は細径超音波プローブを気管支腔内に挿入し、気管支壁・壁外の輪切り像（短軸断層像）を描出する手法です。EBUS を使うことにより気管支鏡施行時に、気管支壁、壁外をリアルタイムに把握する事が可能になります。対象病変をX線透視ではなく超音波でリアルタイムに確認することによって生検を行う際の診断率が向上するとともに、安全性の向上に努めています。

呼吸器･アレルギー内科　診療科長：相良　博典（Sagara Hironori）
趣味：グルメ、旅行

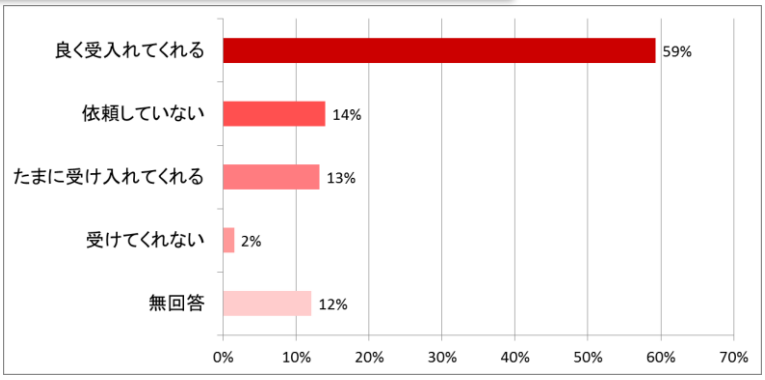
近隣の先生方には、専門性の必要な患者さんや、日常の診療でご苦慮されている患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介を頂けましたら幸いです。治療方針が確定し、病状が安定した患者さんは、「かかりつけの先生」方に逆紹介させて頂き、病診連携を大切にしていきたいと思います。是非、ご協力の程お願いいたします。

医療連携に関するアンケート結果について

地域連携医療機関登録医の先生方、昭和大学を卒業されて開業された先生方に対して、医療連携に関するアンケートを行いましたので、結果を抜粋してご報告いたします。

先生方から頂いたご意見、ご指摘を踏まえ、昭和大学は地域医療機関の先生方と、医療連携を通じて高度な医療を推進し、患者さんにとってより良い医療を提供して参ります。

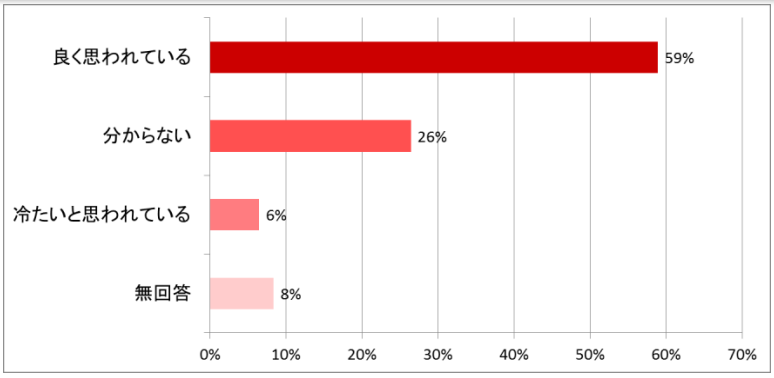
■緊急時の紹介患者さんの受入について



・内科系診療科の緊急紹介は、医療連携室がその場で受入れ返答してくれているのは大変助かります。電話で待たされる時間が少なく非常にありがたいです。

【病院側】：お褒めいただきありがとうございます。しかし、医療連携室の電話が繋がりにくいなど、その他のご指摘も多数頂いておりますので、引き続き改善に向けて取り組んで参ります。

■昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院の印象について（患者さんの印象）



■その他（ご意見）

＜返書･経過報告書＞

・緊急受診、救急紹介受診に対しての報告書がきません。当方としては紹介先（科目）が妥当かどうか診断があっているかどうかとても気になり、又、勉強させていただきたいのですが・・・。

・返書は遅くてもよいので診断結果を教えていただけるとありがたいです。

【病院側】：大変申し訳ありません。最終的な結果をご報告できるように医療連携室を通じて運用を変更し対応して参ります。

＜お褒めのお言葉＞

・医師、スタッフの方が過労とならないことを願います。いつもありがとうございます。

・近隣の連携病院の中では昭和大学が一番スムーズに連携できています。

【病院側】：お褒めいただきありがとうございます、医療スタッフ共々、大切な患者さんをご紹介いただいている先生方のご期待に沿えるように、今後も取り組んで参ります。

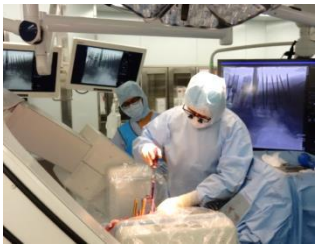
専門外来のご案内　「脊椎脊髄診外来」　「背骨の病気・手術」と言えば昭和大学へ

脊椎脊髄診では、くびから腰までのすべての背骨の病気の治療を数多く行っております。必要に応じて内視鏡・顕微鏡を使用することはもとより、ハイブリッド手術室では手術中にあらゆる方向・角度での背骨の画像を確認することが可能となり、きわめて安全かつ正確な手術を行うことができます。背骨の専門医が皆様のご心配を解決できるように診断と治療に専念しておりますので、どうぞご相談ください。

対象の患者さん

脊柱変形（側弯症や後湾症）、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、頚髄症、頚椎椎間板ヘルニア　など

※背椎後弯症等の手術に対して、脊髄モニタリングや多軸型 CT（コンピュータ断層撮影）様画像撮影装置 Artis zeego（アーティス ジーゴ）ナビゲーションシステムを用いて安全に愛護的な治療を行っています。また、三次元造形モデルとナビゲーションを併用した手術も行っています。



予約の手続きについて

◆外来日：毎週水曜日：午後

◆「紹介状」が必要です。予約は医療連携室（03-3784-8400）へお電話いただき、「脊椎脊髄診外来」のご予約をお取りください。

◆担当医：豊根　知明（整形外科／教授）

（その他背骨の専門医（工藤理史、松岡彰、丸山博史）

今月の熱血医療人
Vol.9「臨床工学技士(不整脈治療専門臨床工学技士)」

～このコーナーでは専門資格を有している熱血メディカルスタッフの方を紹介します～

Q.『臨床工学技士(不整脈治療専門臨床工学技士)』とはどういった仕事をしているのか？

臨床工学技士は、生命維持管理装置操作及び保守点検を業務とした医療機器の専門家でその業務範囲は多岐にわたります。そのため各治療領域において、高い専門的知識を有した専門臨床工学技士がおり、私は不整脈治療専門臨床工学技士の認定を受けております。（不整脈とは、心臓の脈が速くなったり遅くなったりして、“脈がみだれる”状態をいいます。）不整脈専門臨床工学技士は、不整脈に対するカテーテル治療（心臓電気生理学検査・カテーテルアブレーション）や心臓植込み型電気的デバイス治療（ペースメーカ等）において心内電位記録などを行っております。

鈴木　完さん

Q. 患者さんに対してのメッセージをお願いします。

検査・治療を受けるという不安や、検査室にはたくさんの機械があるため怖いという気持ちを少しでも緩和できるように努めています。また、心臓植込み型電気的デバイス治療（ペースメーカ等）後の日常生活においての不安も多いと思いますので、気兼ねなくご質問ください。

最後になりますが、臨床工学技士は院内で日常的に使われている医療機器が安全に使用されるよう機器の保守点検を行っております。

ボランティア感謝会開催報告

平成 29 年３月 25 日(土)、平成 28 年度最後の院内コンサートに続き、16 時 30 分から中央棟１階タリーズコーヒーに於いて、平成 28 年度ボランティア感謝会が開催されました。

出席者は、患者サービス向上委員会委員長の血液内科中牧教授、附属東病院４階の石原看護師長、中央棟９階Ａ病棟の菊地看護師長をはじめ、職員５名とボランティアの皆さん２１名、計 29 名でした。

中牧教授の挨拶に続き、石原看護師長の乾杯の音頭で始まり、普段交流の少ないボランティア同士の和やかな歓談が繰り広げられました。

【中牧教授のご挨拶】

表彰式では、患者サービス向上委員会から、年間を通して活動している、図書ボランティア・院内コンサートボランティア・園芸ボランティア・美術展示ボランティアからそれぞれ１名、院内コンサート出演ボランティアは大学病院・東病院それぞれ１組、ボランティア活動全般の功労者１名に感謝状と記念品が、また、他のボランティアの方々にも記念品が贈呈されました。最後に、平成 29 年度から土曜日が終日診療になる為、コンサート運用が変わる事へのご理解と、今後のご協力をお願いして感謝会は閉会しました。

エマルゴコース研修開催報告

平成２９年３月２５日(土)、昭和大学病院・附属東病院エマルゴコース研修が実施されました。エマルゴコースとは、スウェーデンで開発されたエマルゴトレーニングシステム®に基づく机上シミュレーションを用いた災害訓練の講習会です。

今回の訓練想定は、震度５強の地震が平日の午前８時に発生し、院内におけるエレベーターの一時停止、また、地震の影響により、旗の台駅付近で東急池上線電車が脱線衝突事故を起こしたという状況下で行われました。

昭和大学病院・附属東病院として他職種を交えての研修は今回が初めてとなり、参加者は主に病院・各部門管理職が中心で構成され、実災害時に災害対策本部要員となる方も多く含まれていました。

今後もこのような訓練を重ね、病院全体の災害対応能力の向上に努めてまいります。

【災害対策本部の様子】

【トリアージエリアの様子】

【研修終了後の全体写真】

【黄色（中等症）エリアの様子】

【手術室の様子】

新入職員オリエンテーション

平成 29 年４月３日(月)、昭和大学病院入院棟地下１階臨床講堂にて新入職員オリエンテーションを行いました。板橋家頭夫昭和大学病院長、稲垣克記昭和大学病院附属東病院長の挨拶からはじまり、各部署から病院勤務にあたる際の注意事項などの説明がありました。

また、荏原警察署と荏原消防署の担当者の方々に防犯、防火、防災について講演いただき、屋外で消火訓練を行いました。最後に昭和大学病院入院棟 17 階レストランで歓迎会を行いました。

今年度は看護師 158 名、理学療法士・診療放射線技師等その他メディカルスタッフ 62 名の計 220 名を昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院に迎えることになりました。

【臨床講堂での様子】

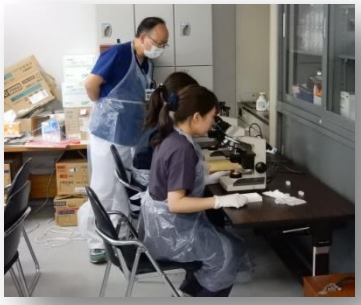
【消火訓練の様子】

初期臨床研修医オリエンテーション

平成 29 年４月３日(月)～4 月７日(金)までの５日間、37 名の初期臨床研修医に対しオリエンテーションを行いました。

研修システム等の説明や、各部署から研修中に必要な基礎知識、実技について講習が行われました。

【気管挿管実習】



【グラム染色実習】

【危険予知トレーニング演習】

【手洗い実習】

救急医療センター開設の報告

平成 29 年４月１日(土)より、昭和大学病院は救急医療の充実を図るべく、新たな組織として救急医療センターを開設致しました。当センターは、軽症の患者さんから他の医療機関では対応できない重篤な患者さんまでをより迅速に受入れ、常に「断らない救急」を目指し、土肥診療科長(救急医学科)を中心にスタッフ一丸となって地域の救急医療を担ってまいります。

【救急医療センター開所集会の様子】

【救急医療センター開所集会の様子】

桜満開の報告

４ 月上旬に昭和大学病院周辺の桜が満開となりました。多くの道行く人が立ち止まり、カメラを手に取り満開の桜を写真に収めていました。春の訪れを感じる瞬間です。

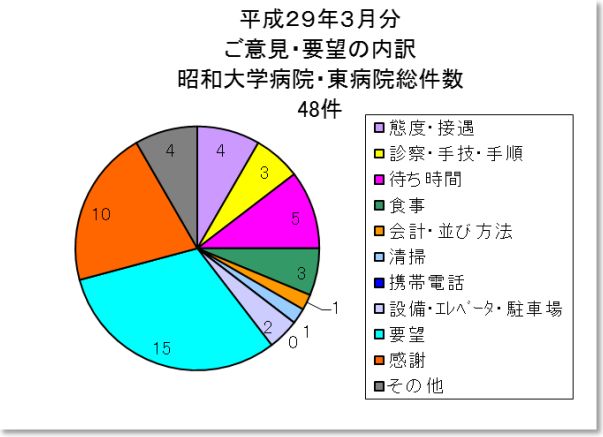
【昭和大学病院中央棟】

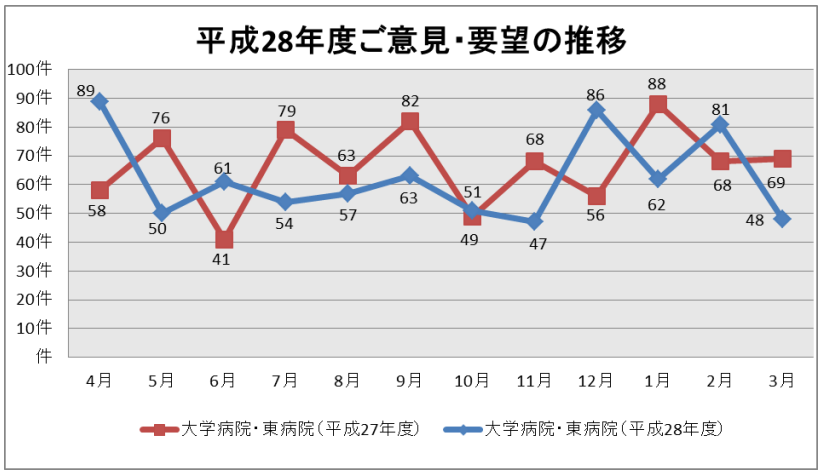
【昭和大学病院入院棟】

【昭和大学病院周辺の様子】

患者さんのご意見･要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
白衣も着ず、Ｔシャツを着た医者に処置された。	Ｔシャツとご指摘いただいたのは「スクラブ」という種類の医療者用の衣服です。特徴としては、半袖で首元がＶネックになっており動きやすくなっています。 丈夫で洗いやすいため頻回に交換することが出来き、衛生的な観点から活用されています。また、カラーバリエーションが豊富であり、小児病棟などではキャラクターがプリントされたスクラブで子供を和ませたり、白衣を見ると緊張したり血圧が上がってしまう患者さんをリラックスさせる効果もあります。 上記の理由で、スクラブを着用した医療者が治療・検査に携わることがありますので、ご理解くださいますようお願いします。	クオリティマネジメント課





平成 28 年度職務満足度調査結果報告

昭和大学統括部長会主催による平成２８年度職務満足度調査を以下の通り実施いたしました。職員の満足度を的確に把握し、職場環境の改善を行い、職員にとって魅力ある仕事や働きやすい職場環境づくりに取り組んでおります。

１．目的

職員に向けた「職務満足度調査」を実施し、年間の組織活動の成果と課題について検討する。

２．概要

１）調査対象者：全病院職員（研修医・委託職員含む）

２）調査期間　：平成 28 年 11 月 1 日（火）～11 月 30 日（水）

３）回答方法　：Web 回答または紙回答

３．集計数（昭和大学病院・東病院）

病院名	対象者	回答者	回答率
昭和大学病院	2,675	1,469	55%
東病院	468	212	45%

４．調査結果

昭和大学 学内情報共有基盤にて配信しております。（病院職員のみ閲覧可）

編集後記

５月、風薫る季節となりました。八十八夜もこの時期です。立春を 1 日目として 88 日目とされます。緑茶は、「からだの健康」と「こころの健康」によい、とてもすぐれたものです。特に緑茶の特有成分の『テアニン』には、脳や神経細胞の興奮を抑えて、リラックス効果があるといわれています。5 月病という言葉もありますが、新茶が出まわるこの季節に、健康のために一服して、ほっと一息ついてみませんか。

荒川　千春

昭和大学病院･附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員：　荒川 千春、磯飛 雄一、大嶽 浩司、加藤 遼、佐藤 久弥、白井 敦、鈴木 隆、中村 清吾、平野 勉、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡（50 音順）